

大動脈解離の患者さんへ

当院では、より良い治療を行うための研究 「大動脈解離術後の残存解離に対する胸部ステントグラフト内挿術 の成績の検討」 を実施しています。

「大動脈解離と診断された患者さんのひとりひとりに最も適した治療方法は何か」を明らかにし、より良い治療法の選択に役立てることを目的として、研究を行っています。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この研究では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、検査の値、その後の経過、手術を実施した場合は、いつ手術を実施したかについての記録を集計させていただきます。

研究の対象は、大動脈解離の患者で、ステントグラフト内挿術を行った一部の方です。

2014年11月1日から2022年12月31日の間に、当院で大動脈解離に対して、ステントグラフトにより治療を始めた患者さんのうちの一部のかたを対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して、済生会横浜市東部病院心臓血管外科飯田泰功のところ集められて解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。その場合は改めて倫理審査を受けます。この研究全体の結果を、研究終了後に、対象者に伝える予定はありません。

研究内容の詳細等は、担当医あるいは下記の当院連絡先担当者にお問い合わせください。

この研究にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2022年12月31日までに、下記担当者にお申し出ください。

連絡先：済生会横浜市東部病院心臓血管外科・担当者飯田泰功

電話 045-576-3000

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1

研究責任者：済生会横浜市東部病院心臓血管外科・飯田泰功